2026年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社オーイズミ

2025年12月8日

OIZUMI

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

table of contents

Ⅰ 決算概要

Ⅱ 新中期経営計画

Ⅰ　決算概要

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

オーイズミグループの事業領域

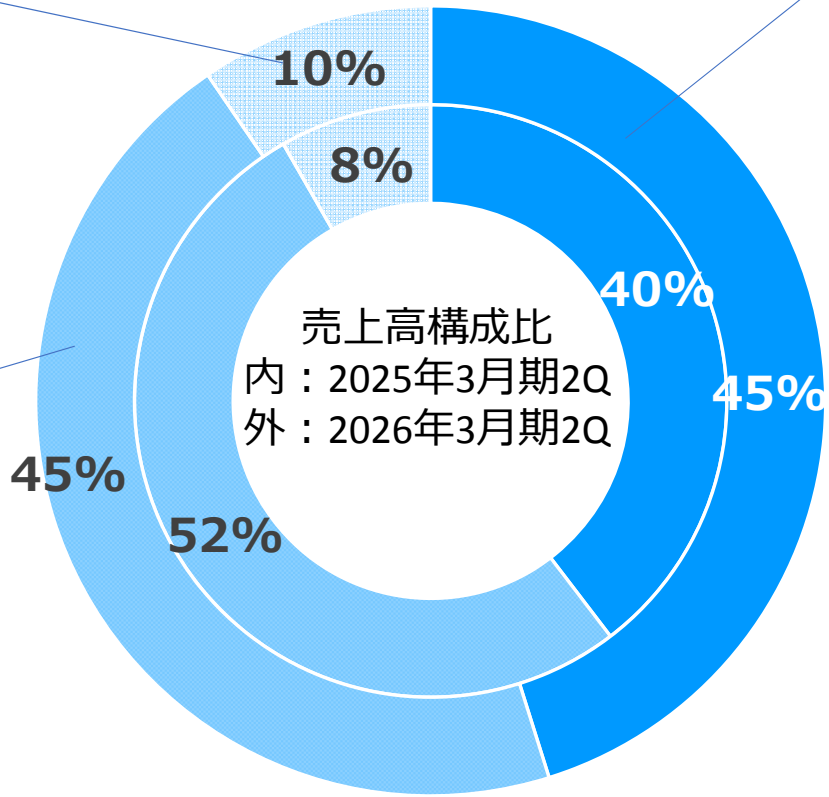
不動産事業・電気事業

- ✓ 不動産賃貸 ／㈱オーイズミ他
- ✓ 太陽光発電 ／神奈川電力㈱

アミューズメント事業

- ✓ 遊技機（パチンコ、パチスロ）、周辺機器製造販売 ／㈱オーイズミ、㈱高尾他

©Project Revue Starlight



食品・EC事業

- ✓ 健康食品・化粧品等の開発・製造販売 ／ バブルスター㈱、武内製薬㈱

- ✓ 蒟蒻ゼリー等の製造販売 ／㈱オーイズミ下仁田

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期 第２四半期サマリー

- 売上高は、食品・ＥＣ事業が増収、アミューズメント事業が減収となり前年同期比減少
- 営業利益は、食品・ＥＣ事業と電気事業の増益により前年同期比増加

（百万円、%）

	25.3期 2Q	**26.3期 2Q**	前期比 増減額	前期比 増減率	2Q 進捗率
売上高	11,648	**10,668**	▲980	▲ 8.4%	47.2
売上総利益	3,965	4,038	73	1.9%	
売上総利益率	34.0%	37.9%	―	3.8pt	
営業利益	750	**783**	33	4.4%	120.6
営業利益率	6.4%	7.3%	―	0.9pt	
経常利益	741	792	50	6.8%	125.7
親会社株主に帰属する **当期純利益**	997	**776**	▲221	▲ 22.2%	115.9
一株当たり当期純利益 **(EPS)**	44.35円	**34.52円**	―	―	

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

セグメント別売上高・損益

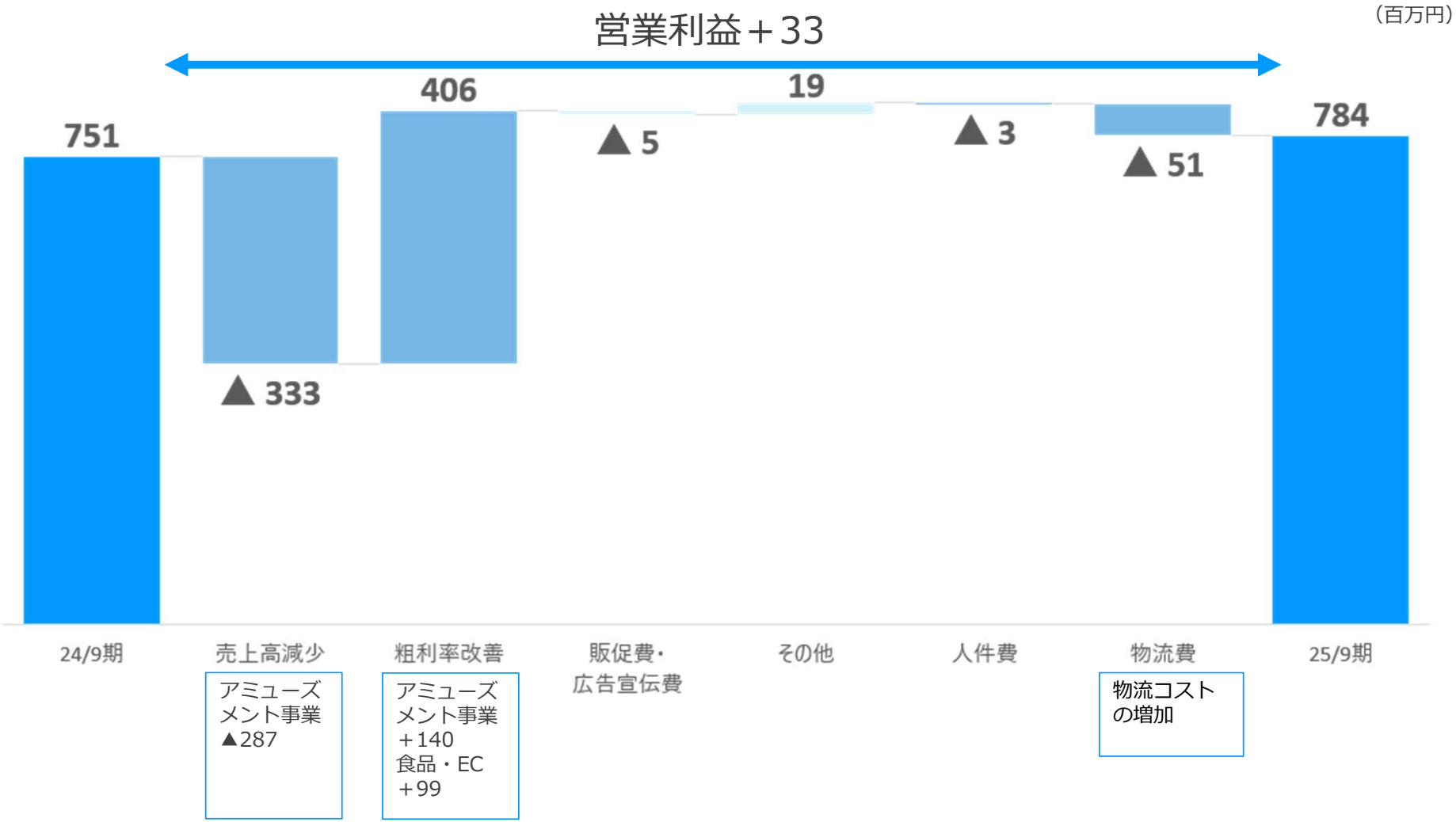
- 食品・ＥＣ事業は、食物繊維など腸活関連が好調で増収増益。
- 遊技機部門は、周辺機器が減少するが、スマスロの再販が好調で減収減益となるが利益率は改善。

（百万円、%）

	25.3期 2Q	**26.3期 2Q**	増減額	前期比 増減率
売上高	11,648	**10,668**	▲980	▲8.4%
食品・EC事業	4,614	**4,816**	+201	+4.4%
アミューズメント事業	6,068	**4,833**	▲1,235	▲20.4%
不動産事業	416	**418**	+1	+0.3%
電気事業	548	**600**	+52	+9.6%
セグメント利益	1,021	**1,067**	**+46**	+4.5%
食品・EC事業	110	**173**	+62	+56.4%
アミューズメント事業	354	**314**	▲39	▲11.1%
不動産事業	214	**181**	▲32	▲15.2%
電気事業	341	**397**	+55	+16.4%
調整額	▲270	**▲ 283**	▲13	
営業利益	750	**783**	+33	+4.4%

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

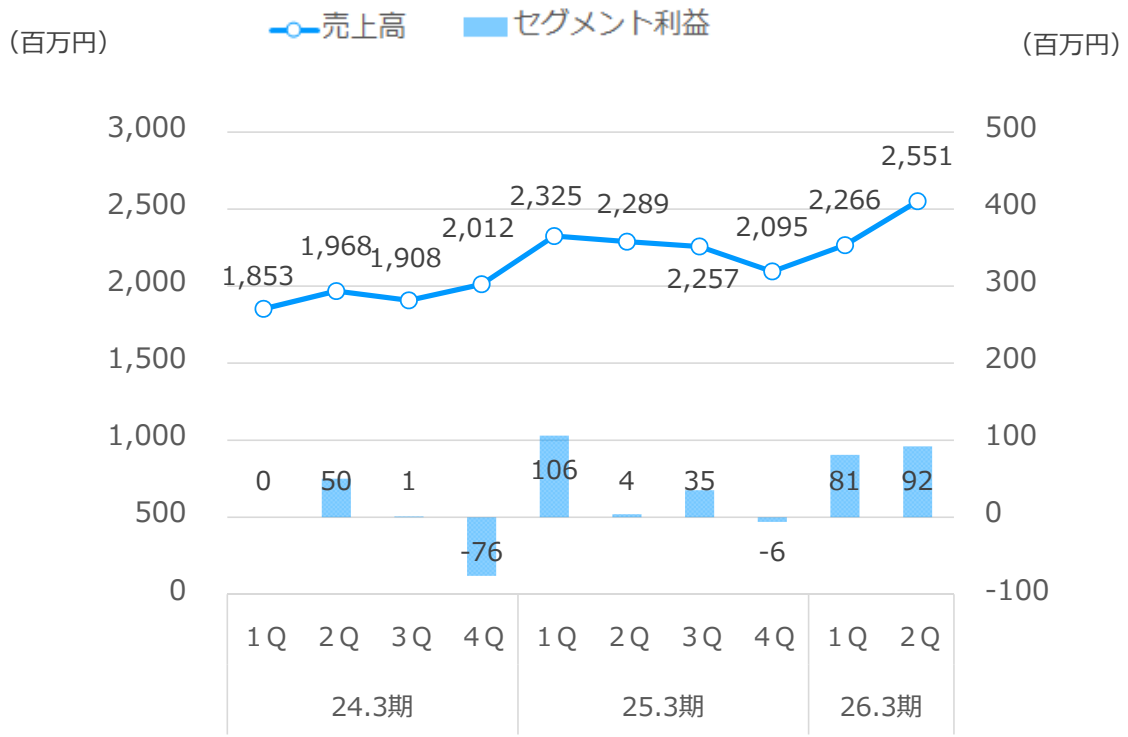
営業利益増減要因



Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・ＥＣ事業

- オーイズミ下仁田は、展示会出展等を通じて認知度向上を図り、新規大手企業との取引獲得や海外取引拡大を実現。
- 武内製薬は、ブランディング投資と価格適正化を継続し、自社ブランド及びOEM拡大により増収増益。
- バブルスターは、腸活関連が引き続き好調で、食物繊維カテゴリが好調。

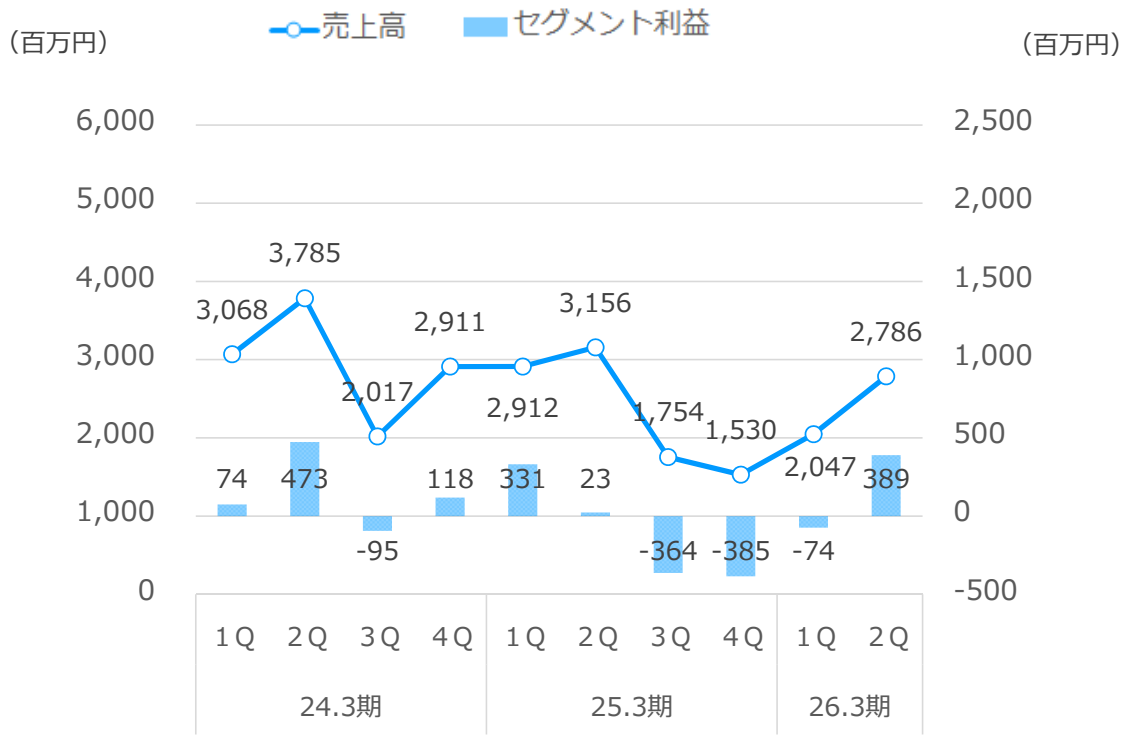


Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

アミューズメント事業

- 遊技機は、オーイズミで「レヴュースタァライト」の再販、高尾で「クイーンズブレイド」が好調。

- 周辺機器は、採算性の検証を進め、メダル補給機器などスマート化による減少が見込まれる機器を縮小。

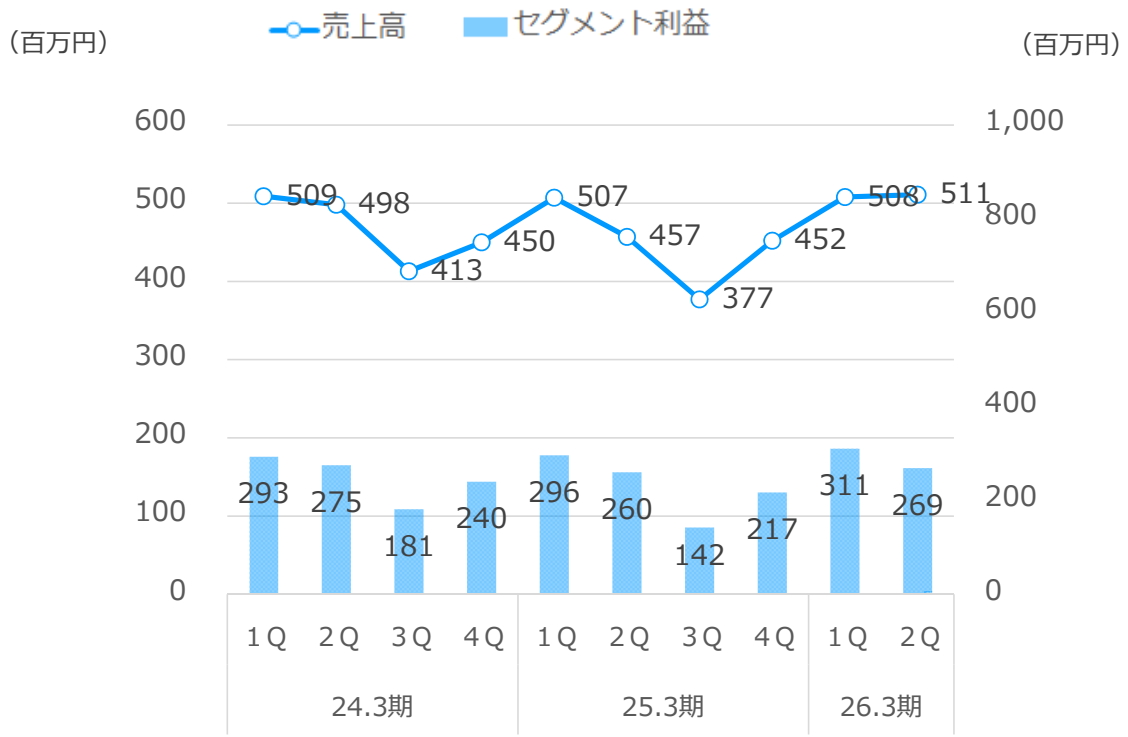


Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

不動産・電力事業

- 不動産事業は、保有物件の保守・管理の徹底に努めるとともに、保有資産の見直しを行い、不動産の入れ替えを実施。

- 電力事業は、継続的安定供給に向け、太陽光発電設備の保守・管理に努めたことで、安定稼働による収益を確保。



Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

バランスシート/キャッシュフロー

貸借対照表サマリー

（百万円）

	25.3期末	25.9期末	増減額	補足
流動資産	17,931	**18,127**	196	現金及び預金の増加（706百万円増）
固定資産	21,027	**22,953**	1,925	賃貸用不動産取得による土地・建物の増加（1,770百万円増）
資産合計	38,958	**41,080**	2,121	
流動負債	8,631	**9,052**	421	短期借入金の増加（372百万円増）
固定負債	12,019	**13,169**	1,149	長期借入金の増加（1,172百万円増）
負債合計	20,651	**22,221**	1,570	
純資産合計	18,307	**18,858**	551	
負債純資産合計	38,958	**41,080**	2,121	
現金及び預金	6,970	**7,677**	706	
有利子負債*	15,660	**17,018**	1,358	
ネット有利子負債	8,689	**9,341**	651	

*リース債務除く

キャッシュフロー計算書サマリー

（百万円）

	25.3期2Q	26.3期2Q	増減額	補足
営業CF	1,451	**1,729**	277	中間純利益1,175百万円の計上、棚卸資産の増加589百万円
投資CF	1,724	**▲ 2,082**	▲ 3,807	有形固定資産の取得による支出2,935百万円
財務CF	▲ 2,045	**1,060**	3,105	長期借入金の収入2,900百万円
フリーCF	3,176	**▲ 353**	▲ 3,529	

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期事業環境と取り組み

	事業環境	今後の取り組み
食品・EC事業	■ 美容・健康意識の高まりと購買行動多様化により健康食品市場は拡大継続 ■ ジャパンブランドの人気は高く、インバウンドの需要は継続	■ 消費者ニーズが高い商品カテゴリーにおける商品開発 ■ 食品展示会への出展による認知度向上 ■ OEM事業における商材拡大 ■ 海外需要への対応
アミューズメント事業	■ 遊技場を取り巻く経営環境は厳しく、大手法人を中心としたM&A等により業界の二極化が進展 ■ スマート遊技機の普及進展によりメダル計測器等周辺機器の需要が減少	■ 遊技機について、リブランディング実施 ■ 周辺機器について、販売機器の採算性と縮小化検討
不動産電気事業	■ 安定した金利水準や投資家需要を背景に、不動産市場は堅調 ■ 地価や建築価格の上昇傾向が継続	■ 保守管理の徹底継続 ■ 保有不動産の一部入れ替えを実施

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期予想

- 売上高は、食品・ＥＣ事業の拡大等により、12.4%増を見込む。
- 営業利益は、アミューズメント事業において周辺機器が低調と見込まれ、通期予想は据え置き。

（百万円、%）

	25.3期 実績	**26.3期 予想**	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	20,113	**22,600**	＋ 2,486	＋ 12.4
売上高総利益	6,363	**7,300**	＋936	＋ 14.7
売上総利益率	*31.6%*	***32.3%***	―	*＋ 0.7pt*
営業利益	93	**650**	＋ 556	＋ 594.5
営業利益率	*0.5%*	***2.8%***	―	*＋ 2.3pt*
経常利益	72	**630**	＋ 557	＋ 772.6
親会社株主に 帰属する当期純利益	246	**670**	＋ 423	＋ 172.0
一株当たり当期純利益 (EPS)	10.95円	**29.78円**	―	―

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

2026年3月期予想 セグメント別売上高・損益

- 食品・ＥＣ事業は、付加価値の高い自社商品の商品開発に努めるとともに、ＯＥＭ拡大に取り組み、増収増益となる見込み。

- アミューズメント事業は、周辺機器の販売環境は下期も厳しい状況が想定。遊技機の新機種販売や、構造改革等を検討。

（百万円、%）

	25.3期 実績	**26.3期 予想**	増減額	前期比 増減率
売上高	20,113	**22,600**	+ 2,486	+ 12.4
食品・ＥＣ事業	8,968	**9,487**	+ 519	+ 5.8
アミューズメント事業	9,356	**11,363**	+ 2,006	+ 21.4
不動産事業	815	**819**	+ 4	+ 0.5
電気事業	978	**930**	▲ 48	▲ 4.9
セグメント利益	659	**1,215**	+ 555	+ 84.3
食品・ＥＣ事業	139	**329**	+ 190	+ 136.4
アミューズメント事業	▲ 394	**13**	+ 408	―
不動産事業	416	**412**	▲ 4	▲ 1.1
電気事業	497	**460**	▲ 37	▲ 7.5
調整額	▲ 565	**▲ 565**	0	―
営業利益	93	**650**	+ 556	+ 594.5

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

投資計画

- 25年3月期
  - ✓ オーイズミ下仁田で生産能力拡大と生産効率向上のための工場新設、バブルスターでプロテインや食物繊維等の粉体の混合・充填工場新設等、投資投資が増加。
- 26年3月期
  - ✓ オーイズミ下仁田において工場新設投資が継続予定。

（百万円）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画
設備投資	496	2,257	1,840
減価償却費	964	860	1,000
研究開発費	1,219	1,698	1,450
主な内容	【設備投資】 遊技機見本機 食品工場用地 【研究開発】 周辺機器 遊技機	【設備投資】 食品生産設備 【研究開発】 遊技機	【設備投資】 食品生産設備 【研究開発】 遊技機

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

株主還元

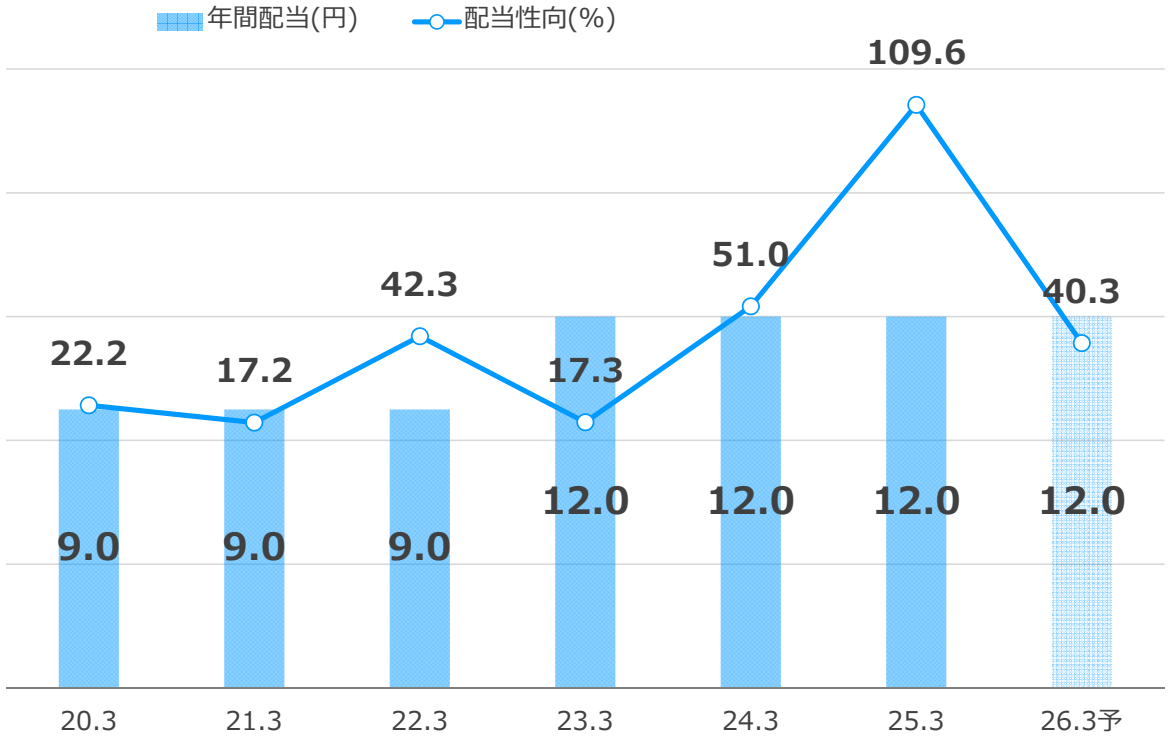
株主還元方針

■ 企業価値向上を図りながら、株主様に対する利益還元を図ることを経営の重要課題と認識

配当性向30%～40%目標

安定配当 ＋ 業績に応じた配当

（%、円）



Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

Ⅱ　新中期経営計画

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

新中期経営計画策定のバックグラウンド

ビジョン実現

- 食品・ＥＣ事業を軸に構造改革を進め、新たな成長を目指す

環境変化対応

- アミューズメント事業の、市場構造変化へ対応

経営体制強化

- 経営安定化と収益性向上に向けた人材・経営体制強化

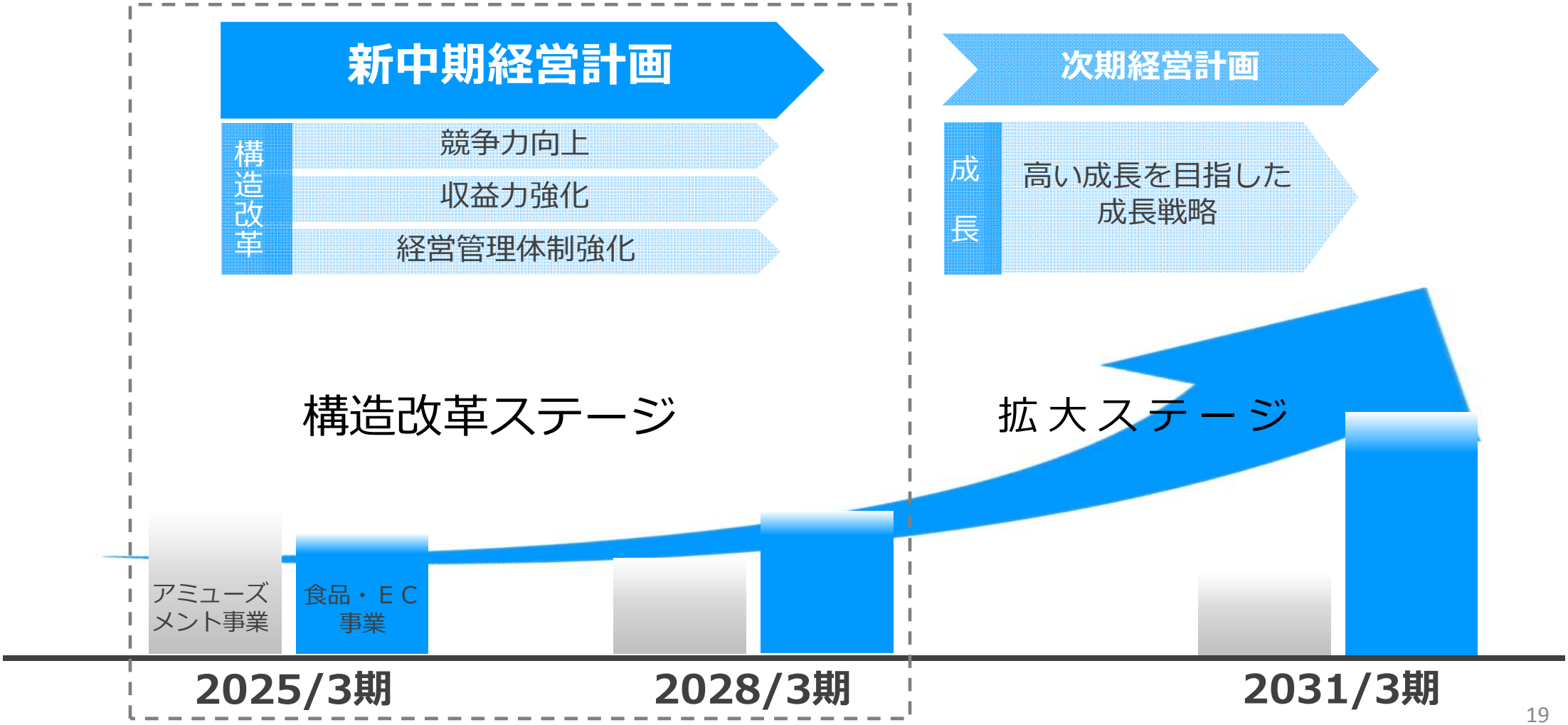
Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

長期ビジョン

豊かな未来を“創造”

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

新中期経営計画の位置づけ



Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

新中期経営計画～基本方針～

■ 競争力向上、収益力強化、経営体制強化を基本方針とする

競争力向上

- 差別化戦略

1. 商品開発
2. ブランド強化
3. プロモーション

収益力強化

- 事業最適化

1. 事業ポートフォリオ最適化
2. 固定費削減
3. 生産性向上

経営体制強化

- 経営資源配分

1. 事業投資
2. 人材投資
3. グループ経営管理

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・ＥＣ事業／基本戦略

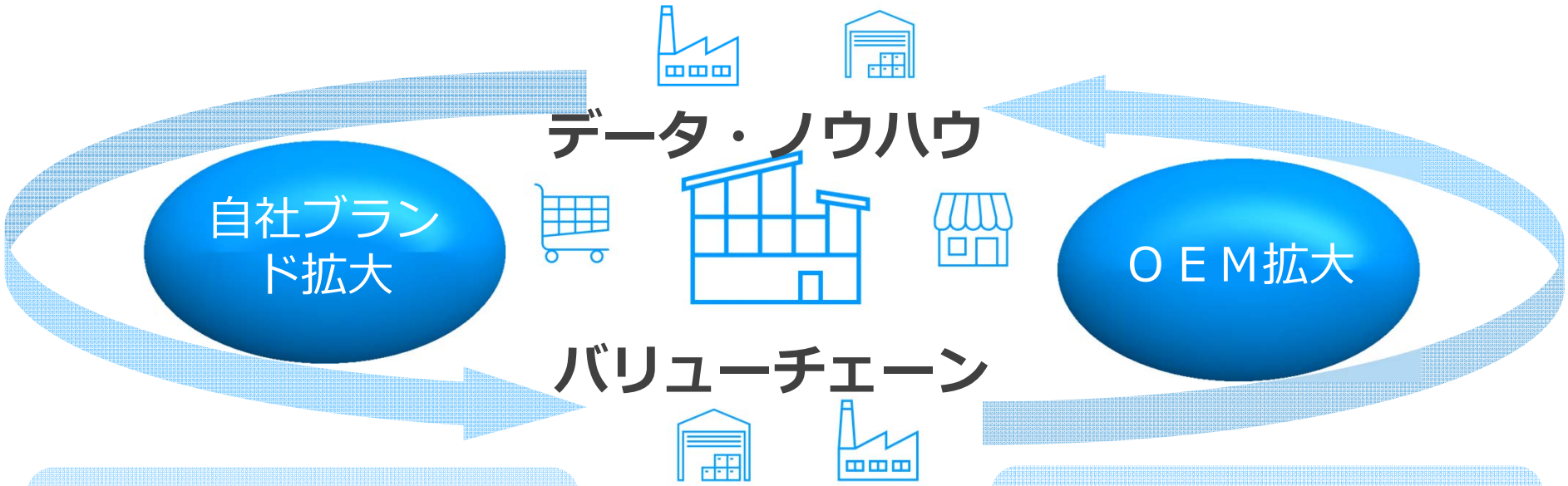
- 安定的な需要拡大が期待される、健康領域、美容領域において事業展開
- 自社ブランドに加えOEM事業も行う

	武内製薬	バブルスター	オーイズミ下仁田
事業領域	開発・製造・販売 健康領域 美容領域 自社ブランド OEM	開発・製造・販売 健康領域 自社ブランド	開発・製造・販売 健康領域 自社ブランド OEM
自社ブランド	• フィットネス総合ブランド「THE PROTEIN」 • ベビー・マタニティブランド「mamacharm」	• 総合健康食品ブランド「LOHAStyle」	• 蒟蒻食品ブランド「蒟蒻工房」
販売チャネル	オンライン中心 ECモール、自社サイト ドラッグストア他	オンライン中心 ECモール、自社サイト ドラッグストア他	オフライン中心 スーパー ドラッグストア ECモール、自社サイト

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・EC領域／成長戦略

- 健康志向の流れは当面継続し消費者層も拡大
- 「Made in Japan」ブランドは海外消費者の需要も高い



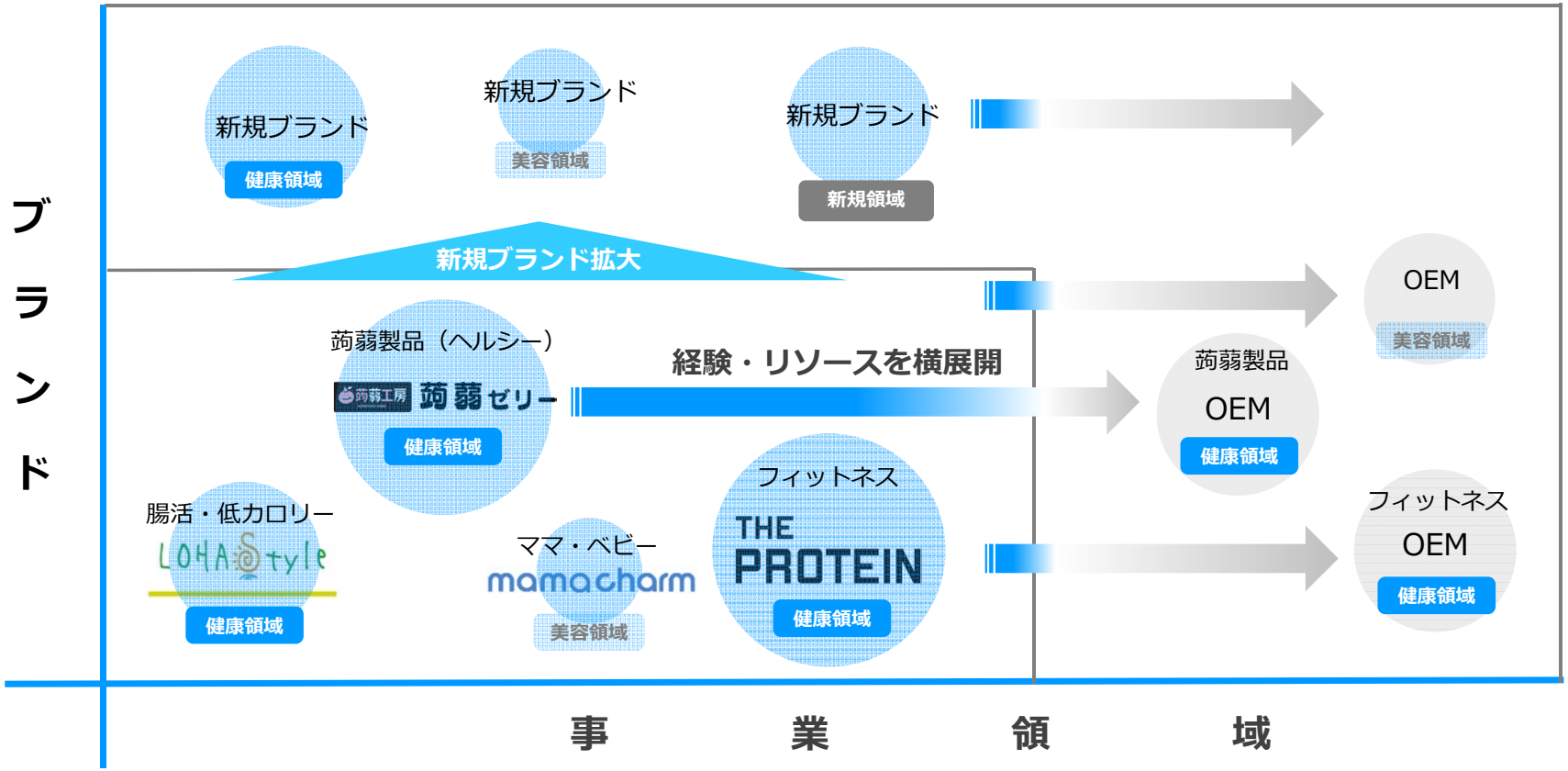
- **自社ブランドで、企画・開発、製造、調達、マーケティング、ブランディングノウハウを構築**

- **自社ブランド展開における知見・データを活かし、ＯＥＭビジネスを拡大**

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・ＥＣ事業／成長戦略イメージ

■ 自社ブランドのポートフォリオ拡充とOEM展開で事業領域拡大を図る戦略

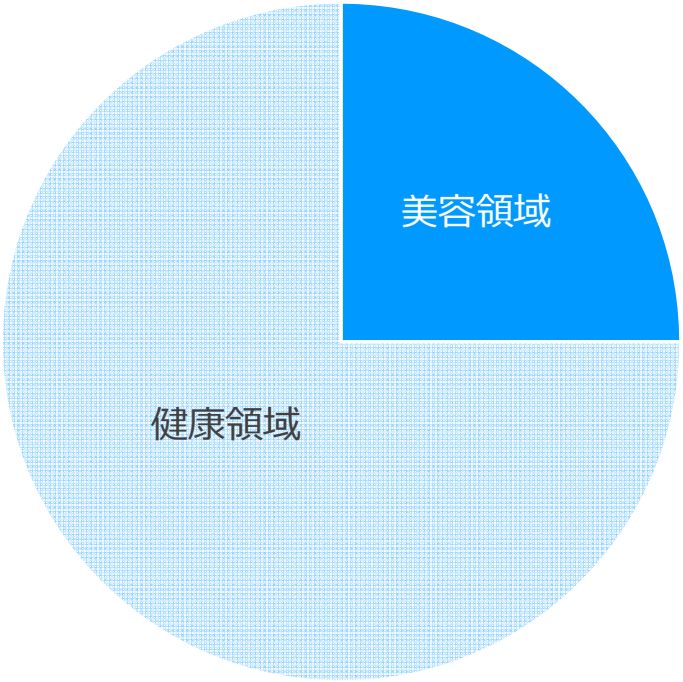


Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・EC領域の売上構成

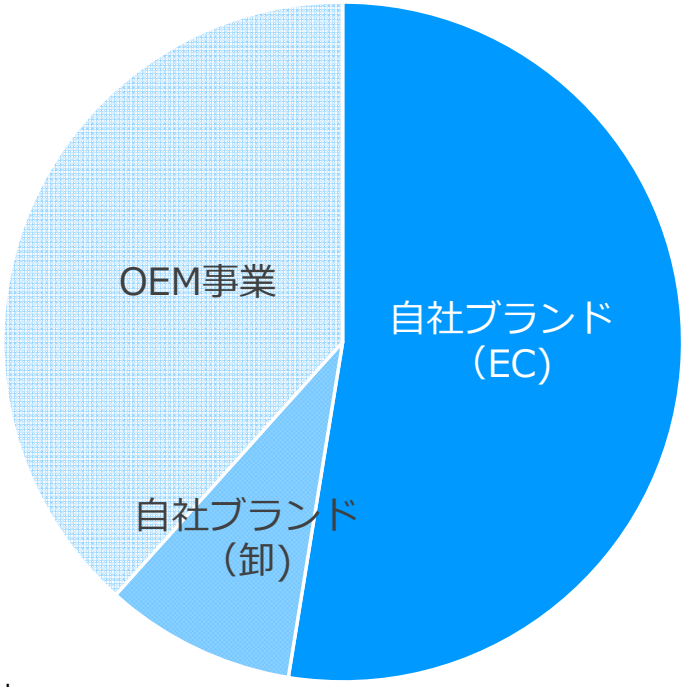
領域・カテゴリ別売上割合

- 売上実績を商品・製品ごとに美容関連商品と健康関連商品に大別した場合、健康領域の売上割合が約75%となっている



事業・チャネル別売上割合

- 自社ブランドの売上割合が約60%である
- 自社ブランドのうち、約85%がオンライン・残りがオフラインでの売上で約15%のシェアとなる
- OEM事業の成長・拡大が続き、約40%の売上割合となる



24/4～25/3販売実績より集計

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・ＥＣ事業／事業・領域別戦略事例

■ 多様な事業・領域を扱うため、事業・領域・ブランドごとに最適な戦略を用いて展開

領域	自社ブランド	概要	今後の戦略
健康	THE PROTEIN （武内製薬）	フィットネス領域 総合健康食品ブランド 	✓ 新商品投入（植物由来プロテイン、EAA他スポーツニュートリション領域） ✓ インフルエンサーコラボとSNS強化 ✓ 販売価格・商品ポートフォリオの適正化による利益率向上 ✓ 自社サイトへの誘導と定期会員数の増加を図る
	LOHAStyle （バブルスター）	腸活・低カロリー領域中心 健康食品ブランド 	✓ SEO対策と価格の適正化 ✓ エビデンスベース(大学との提携他)の商品開発強化 ✓ 市場親和性の高いインフルエンサー活用 ✓ リブランディング実施等によるブランド強化
美容	mamacharm （武内製薬）	ママ・ベビー領域ブランド スキンケア商品中心 	✓ 商品カテゴリ拡大 ✓ SEO対策 ✓ 共創型商品の開発 ✓ LTVの拡大

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

食品・ＥＣ事業／事業・領域別戦略事例

■ 多様な事業・領域を扱うため、事業・領域・ブランドごとに最適な戦略を用いて展開

領域	OEM事業	概要	今後の戦略
健康	オーイズミ下仁田（OEM）	蒟蒻商品を中心に様々な企業へのOEMを展開 商品イメージ	✓ 自社ブランド認知度向上 ✓ OEM受注拡大 ✓ 海外需要へ対応し生産能力拡大 ✓ 生産効率向上とOEM案件受注拡大
健康 美容	武内製薬（OEM）	美容・健康領域を中心に複数カテゴリのOEMを展開 	✓ 自社商品の商品開発力・原料調達力をOEMで横展開 ✓ 自社工場と協力先連携で多様な商品・ロットに対応 ✓ ECモール・SNSなど、最新販路を意識した商品開発・提案力に強み

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

アミューズメント事業／構造改革の取組み

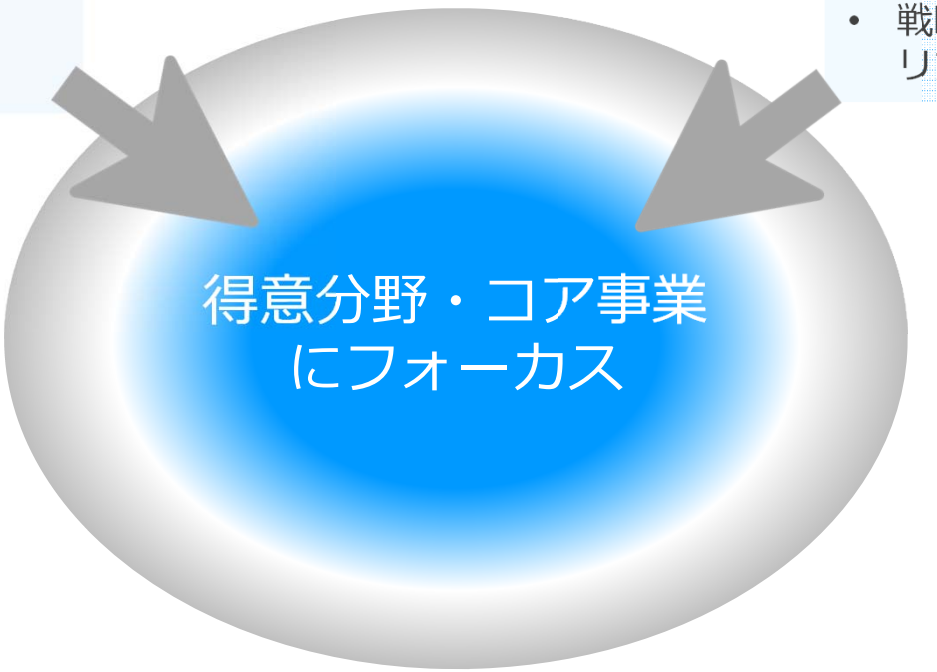
■ スマート遊技機で市場回復するも、遊技人口の減少継続が想定され、適正な経営体制に

コスト削減

- 不採算事業縮小
- 営業拠点再編

生産性向上

- 効果的なＩＰ活用
- 戦略的販売ラインナップのリブランディング



Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

アミューズメント事業／構造改革の取組み

■ 営業拠点統廃合によりコスト削減及び業務効率改善へ

2025/3期末

エリア	営業拠点
東日本	札幌営業所
	青森営業所
	仙台営業所
	埼玉営業所
	東京支店
	静岡営業所
中部・近畿	金沢営業所
	名古屋支店
	大阪支店
中四国・九州	広島営業所
	松山営業所＊
	福岡営業所
	南九州営業所
	沖縄営業所

2026/3期末予定

エリア	営業拠点
東日本	札幌営業所
	青森営業所
	仙台営業所
	埼玉営業所
	東京支店
中部・近畿	金沢営業所
	名古屋支店
	大阪支店
中四国・九州	**広島営業所**
	福岡営業所
	南九州営業所

- **静岡、松山、沖縄の営業機能を東京、広島、福岡に統合**
- **静岡、沖縄は閉鎖**
- **松山はメンテナンス拠点に転用**

板金加工事業から撤退

＊松山はメンテナンス拠点として継続

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

アミューズメント事業／構造改革への取組み

■ 戦略的販売ラインナップのリブランディング

2026年2月発売予定

- **2025年8月「REAL A+プロジェクト」を発表**
  - ✓**高射幸機ではなくパチスロ本来の「遊技としての面白さ」を再喚起することを目的とした新プロジェクト**
- **リブランディング**
  - ✓**他メーカーが技術的に難しいリアルボーナス機にて自社ブランドイメージの向上を狙いつつ、市場でのオンリーワンとなるべく戦略的にシェアを確保していく**

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.

免責事項

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

本資料およびIRに関するお問い合わせ先

株式会社オーイズミ　管理部

電話　：046-297-2111

E-mail　：irinfo@oizumi.co.jp

URL　：https://www.oizumi.co.jp/

Copyright © 2025 OIZUMI Corporation. All Rights Reserved.